

第14回日本成人先天性心疾患学会

14th Annual Meeting of Japanese Society for Adult Congenital Heart Disease

抄録集

主題 「成人先天性心疾患診療体制の構築を目指して」

*A Proposal for Nationwide Systems for ACHD Patient's Clinics
~ Collaboration between Adult and Pediatric Cardiologists ~*

招待講演

Prof. Joseph K. Perloff, UCLA

Prof. Philip J. Steer, Imperial College London

Prof. Ad Bogers, University Hospital Rotterdam

会期 2012年1月14日(土)・15日(日)

会場 聖路加看護大学

Alice C St John's Memorial Hall, 東京

会長 市田 蒞子 (富山大学医学部小児科)

学会事務局：富山大学医学部小児科 渡辺 一洋

〒930-0194 富山市杉谷 2630

TEL：076-434-7313, FAX：076-434-5029

E-mail：jsachd14@med.u-toyama.ac.jp

URL <http://www.jsachd.org/>

第 14 回日本成人先天性心疾患学会開催にあたって

第 14 回日本先天性心疾患学会学術集会

会長 市田 露子

(富山大学医学薬学研究部小児科)

「第 14 回日本成人先天性心疾患学会」を開催するに当たり、ご挨拶申し上げます。本学会は、1999 年 1 月に「日本成人先天性心疾患研究会」として発足し、一昨年より、研究会から学会へ発展し、各分野の専門医、看護師、臨床心理士など多領域専門職を含めた、全国に広がる診療ネットワーク構築のための活動を続けています。現在、我が国にはすでに 40 万人の成人先天性心疾患の患者さんがおり、さらに毎年約 9,000 名が成人に達し増加し続けています。そして、そのなかには重大な医学的、社会的問題をかかえて、専門的診療や援助を必要とする患者さんがかなりの数いることが明らかになってきています。術後遠隔期のうっ血性肝硬変やチアノーゼ性腎症などの医学的問題のみならず、出産にかかわる問題や社会心理的な問題など、生涯を通しての問題は山積みになっています。現在は、わが国では、この成人先天性心疾患の患者さんの約 80%において、小児循環器医が引き続き診療していますが限界があります。成人期の患者さんには成人期の合併症が付きものであり、小児科医にとっては診療上苦慮する 경우가多く、循環器内科医との連携が必要です。しかも、わが国においては、成人先天性心疾患診療科を標榜している病院はごく限られており、体系だった成人先天性心疾患の専門教育もありません。日本循環器学会の専門医教育の中でも、先天性心疾患はごく限られた内容でしかありません。そのため、本会では、“成人先天性心疾患診療体制の構築”を主題として、循環器内科と小児循環器科のコラボレーションの必要性に関して討論を行うことと致しました。また、成人期における問題解決の糸口として、“フォンタン遠隔期の諸問題”、“成人先天性心疾患と不整脈”、“Repaired TOF, a selective approach in reintervention for pulmonary regurgitation in adults?”のシンポジウムを企画いたしました。各々のシンポジウムの先立ち、Prof. Joseph K. Perloff (UCLA), Prof. Philip J Steer (Imperial College London), Prof. Ad J.J.C. Bogers (Cardiothoracic Surgery Thoraxcentre, Erasmus MC, Rotterdam)による基調講演、招待講演を予定しております。循環器内科と小児循環器科のコラボレーションと成人先天性心疾患診療体制の構築が一步でも前進することを願ってやみません。

Dear Colleagues,

It is my pleasure to invite you to the 14th Annual Meeting of Japanese Society for Adult Congenital Heart Disease (JSACHD) in Tokyo, January 14 to 15, 2012. Since JSACHD was established in 1999, one of the major goals has been to promote better care for adults with congenital heart disease and to facilitate collaboration and cooperation among pediatric cardiologists, adult cardiologists, cardiovascular surgeons, obstetricians, psychologists and other allied healthcare providers. In Japan, the number of adults with congenital heart disease is estimated to be 500,000, and increasing by 9,000 patients every year. Many of these adult patients suffer not only physical problems but also from social, economic and psychological obstacles. However, current comprehensive management programs for adults with CHD are not sufficient to care these patients in Japan. Therefore, we decided that this year the conference's main theme will be “A Proposal for Nationwide Systems for ACHD Patient's Clinics ~Collaboration between Adult and Pediatric Cardiologists”. We also have symposia entitled “Issues long-term after Fontan operation”, “ACHD and Arrhythmia”, and “Repaired TOF, a selective approach in reintervention for pulmonary regurgitation in adults?”. Prof. Joseph K. Perloff (UCLA), Prof. Philip J Steer (Imperial College London), and Prof. Ad J.J.C. Bogers (Cardiothoracic Surgery Thoraxcentre, Erasmus MC, Rotterdam) have agreed to give keynote lectures in these sessions.

We are proud to host this conference and will do our best to ensure a successful meeting with an excellent scientific programme. We hope this conference will give you the opportunity to share the best of your research and education in ACHD.

Sincerely yours,

Congress Chairperson Fukiko Ichida, MD.,PhD.

会場へのアクセス

近隣地図（電車・バスでお越しの場合）

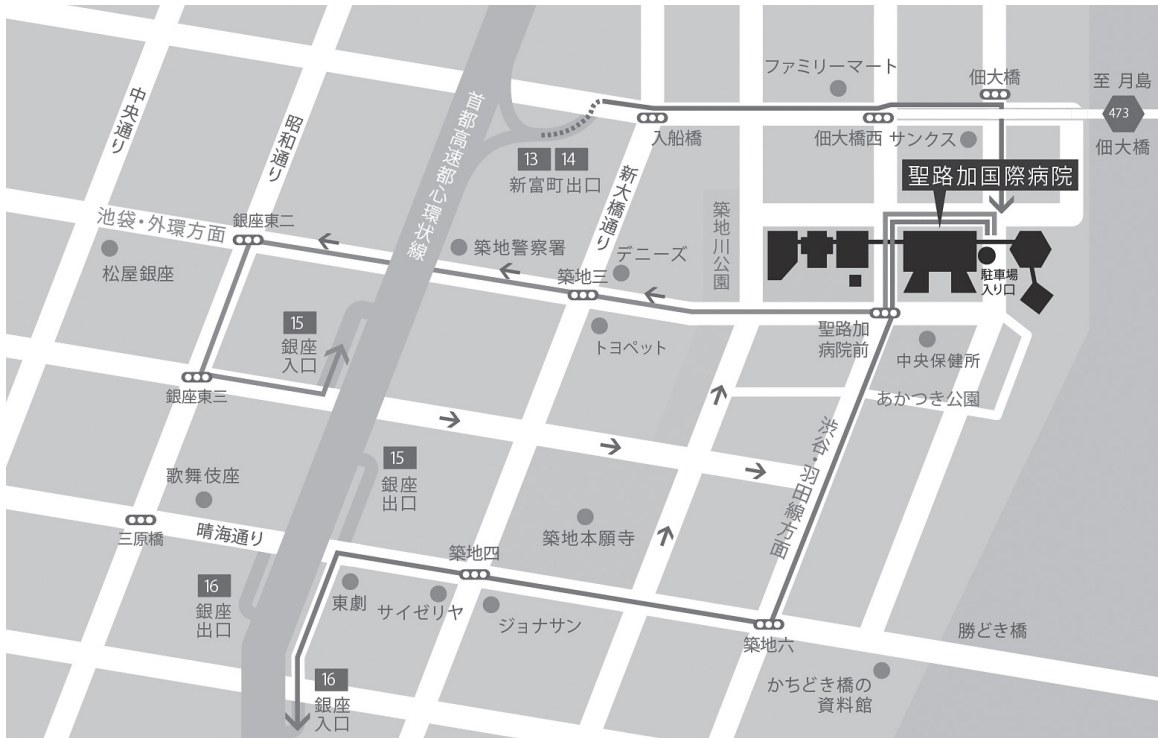
地下鉄 東京メトロ日比谷線築地駅下車（3、4番出口）、徒歩7分

東京メトロ有楽町線新富町駅下車（6番出口）、徒歩8分

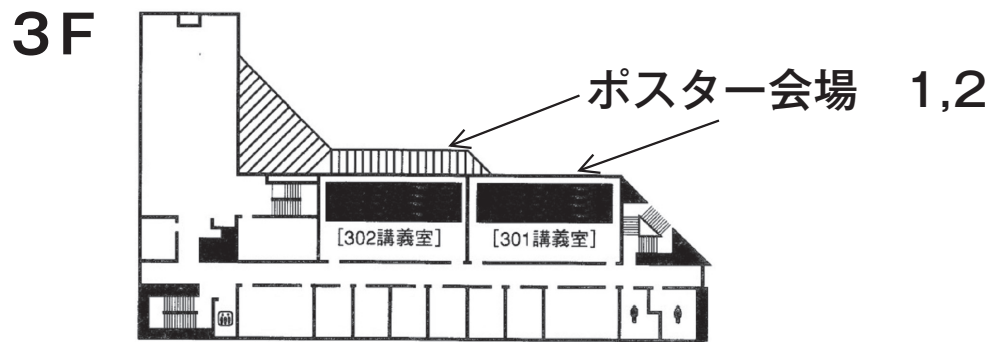
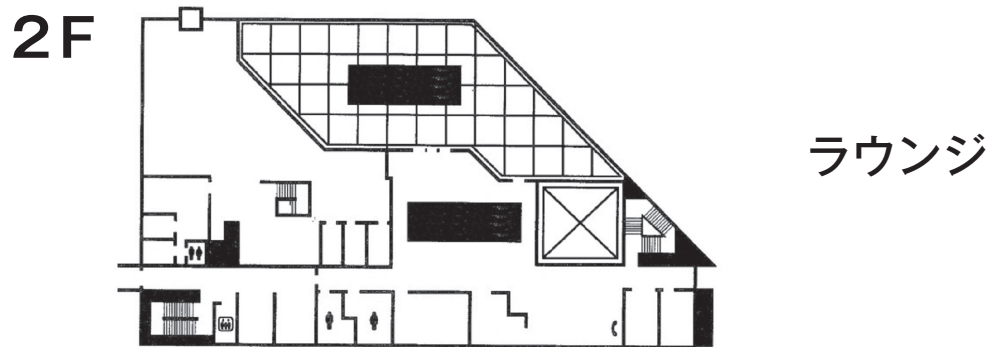
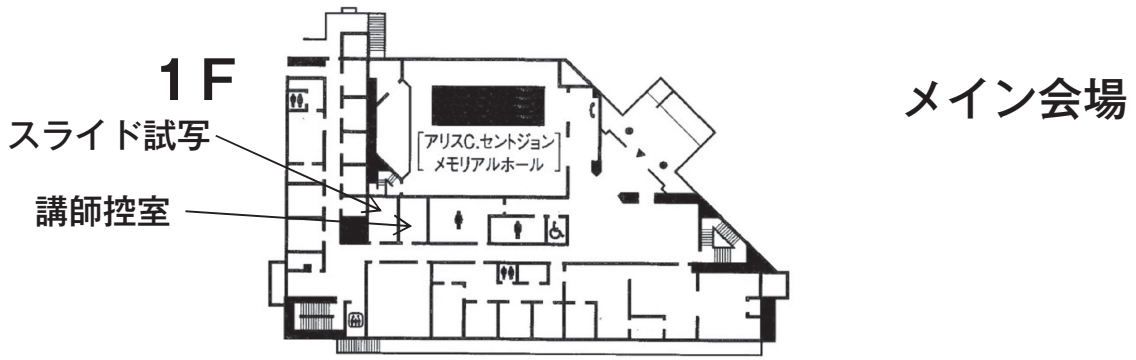
バス 東15番ー東京駅八重洲口 深川車庫行 聖路加病院前下車



近隣地図（お車でお越しの場合）



会場内のご案内



参加者へのご案内

1. 会場

聖路加看護大学

2. 会期

2012年1月14日(土) 午前8:00時~開場

2012年1月15日(日) 午前7:30時~開場

3. 参加費

医師 10,000円

診療支援者(看護師・助産師・検査技師・一般企業) 5,000円

学生・患者さん 無料

4. 懇親会

2012年1月14日(土) 午後7時30分~9時30分

聖路加国際病院1F: レストラン「エスペランス」

懇親会費 2,000円

5. プログラム抄録集

ご希望の方は、一部1,000円で販売いたします

演題ご発表の皆様へご案内

一般口演: ご発表 7分, 討論5分

ポスター発表: ご発表 2分, 討論3分

シンポジウム: ご発表時間はシンポジウムにより異なり, 個別の指示があります

※発表は日本語ないし英語, 発表スライドとポスターは極力英語での作成をお願いいたします。

※プログラムの円滑な進行のため, 座長の指示を優先してください。

■発表方法に関しまして

- (1) 発表形式はPC発表のみです。プレゼンテーション作成ソフトは、Windows PowerPointです。
スライドやビデオは使用できませんので、ご注意下さい。
- (2) 会場へは、USBメモリ、CD-R、パソコン本体、いずれかの形で発表データをお持ち込み下さい。
- (3) 講演開始30分前迄にPC受付にて発表データの試写と受付を済ませて下さい。PCお持ち込みの方も、30分前迄にPC受付へお越し下さい。
- (4) パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。
- (5) PC受付のパソコンは台数が限られております。受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮願います。
- (6) PCにコピーさせていただいたメディアの内容は、事務局で責任を持って消去いたします。

■ USB メモリ, または CD-R (RW 不可) をお持ち込みの方への注意事項

(1) ソフトは, 以下のものをご使用ください.

Windows 版 PowerPoint 2007 / 2010

※ Macintosh をご使用の方は, PC をお持ち込み下さい.

※ 動画ファイルをご使用の方は, PC をお持ち込み下さい.

(2) フォントは OS 標準のもののみご使用下さい.

(3) 画面の解像度は, XGA (1024 × 768) でお願い致します.

(4) CD-R (RW 不可) への書き込みは, ISO9660 方式をお使い下さい.

※ パケット方式ですと, 会場 PC で読み込めない恐れがあります.

※ CD-R は, ご自身の PC 以外でも問題なくプレビューできるかを必ず事前にご確認ください.

※ 持ち込まれるメディアには, 当日発表の完成版データ以外入れないようにして下さい.

(5) 必ず事前に, ご自身でウイルスチェックを行ってください.

(6) 会場スピーカーに音声は流せません.

■ ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

(1) バックアップとして, 必ずメディアもご持参下さい.

(2) 画面の解像度は, XGA (1024 × 768) でお願いいたします.

(3) PC 受付の液晶モニターに接続し, 映像の出力チェックを行って下さい.

※ PC の機種や OS によって, 出力設定方法が異なります.

※ 動画は使用可能ですが, 本体の液晶画面に動画が表示されても, PC の外部出力に接続した画面には, 表示されない場合があります.

PC 受付にて, 実際にお持ちいただく PC の外部出力に液晶モニターを接続してご確認ください.

(4) プロジェクターとの接続ケーブルは, Dsub-15 ピンです.

PC によっては専用のコネクタが必要になりますので, 必ずお持ち下さい.

※ 特に Mac, VAIO, iBook 等小型 PC は, 別途付属コネクタが必要な場合があります. 必ずご確認のうえお持ちください.

(5) スクリーンセーバー, 省電力設定は事前に解除願います.

(6) コンセント用電源アダプタを必ずご持参下さい.

※ 内蔵バッテリー駆動ですと, ご発表中に映像が切れる恐れがあります.

(7) 動画がある場合は, PC 受付の際, 必ずスタッフにお申し出ください.

(8) 動画のファイルがある場合は, すべてのデータを同一フォルダに入れてください.

(9) PC 受付で動作確認を終了した PC は, ご発表 15 分前までに会場前方の左手演題付近の PC デスクへお越しの上, ケーブルを接続し発表に備えてください.

(10) ご発表後, PC デスクにて PC をお受け取り下さい.

(11) 会場スピーカーに音声は流せません。

■ PC 操作に関しまして

スライド送りなどの PC 操作は、ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

■ ポスター発表につきまして

発表は日本語ないし英語，ポスターは極力英語での作成をお願いいたします。

パネルサイズは縦 210cm・横 90cm です。

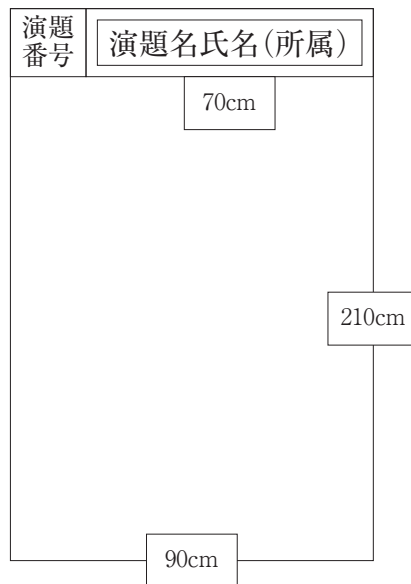
演題番号(20cm × 20cm)は事務局で用意しております。

演題名・氏名・所属(20cm × 70cm)は各自ご準備ください。

ポスターの掲示，撤去は下記時間をお願いします。

ポスター掲示 1/14 (土) 9:00~10:30

ポスター撤去 1/15 (日) 16:15~18:00



■ 理事会・総会 ■

1. 理事会

日時：2012年1月13日(金) 18:00~19:15

場所：聖路加看護大学1階 会議室

2. 学会総会

日時：2012年1月15日(日) 12:30~13:00

場所：聖路加看護大学講堂 メイン会場

3. 懇親会

日時：2012年1月15日(日) 19:30~21:30

場所：聖路加国際病院1階レストラン「エスペランス」

日 程 表 1月14日 (土)

8 : 50~	開会	Opening Remark
9 : 00~10 : 00	Session I 妊娠・出産 (演題OI-1~OI-5) 座長：篠原徳子、神谷千津子	Session I Pregnancy/Delivery(OI-1~OI-5) Moderators : Shinohara T, Kamiya C
10 : 05~10 : 50	招待講演 I	Invited Lecture I
	Philip J Steer Pregnancy and ACHD 座長：池田智明	Philip J Steer Pregnancy and ACHD Chair : Ikeda T
10 : 55~12 : 10	Session II フォンタン遠隔期 (演題 OII-6~OII-11) 座長：坂崎尚徳、大内秀雄	Session II Long-term after Fontan operation (OII-6~OII-11) Moderators : Sakazaki H, Ouchi H
12 : 15~13 : 00	ランチョンセミナー	Lunch on Seminar
	八尾厚史 肺動脈性肺高血圧症治療薬の進歩と成人先天性心 疾患患者への応用 座長：山田 修 (共催：日本新薬株式会社)	Atsushi Yao How should we apply pulmonary arterial hypertension drugs for adult patients with congenital heart disease ? Chair : Yamada O (Supported by NIPPON SHINYAKU CO., LTD.)
13 : 00~13 : 30	昼食	Lunch
13 : 30~13 : 50	基調講演	Keynote Lecture
	Philip J Steer Pregnancy in patients with Fontan circula- tion 座長：松田義雄	Philip J Steer Pregnancy in patients with Fontan circula- tion Chair : Matsuda Y
13 : 55~15 : 25	パネルディスカッション I : フォンタン遠隔期の諸問題	Panel Discussion : Long-term issues after Fontan operation
	SI-1~SI-5 座長：城尾邦隆、芳村直樹	SI-1~SI-5 Moderators : Joo K, Yoshimura N
15 : 25~15 : 50	ポスターセッション&アフタヌーンティー	Poster Session & Afternoon Tea
	P1-P18	(P1-P18)
15 : 50~16 : 10	基調講演	Keynote Lecture
	Joseph K. Perloff Arrhythmias in ACHD 座長：JaeKon Ko	Joseph K. Perloff Arrhythmias in ACHD Chair : JaeKon Ko
16 : 15~17 : 45	シンポジウム II : 成人先天性心疾患と不整脈	Symposium II : ACHD and Arrhythmia
	SII-1~SII-5 座長： 庄田守男、高橋一浩	SII-1~SII-5 Moderators : Shoda M, Takahashi K
17 : 50~18 : 50	Session III 不整脈 (演題 OIII-12~OIII-16) 座長： 住友直方、西原崇創	Session III Arrhythmia (OIII-12~OIII-16) Moderators : Sumitomo N, Nishihara S
19 : 30~	懇親会	Welcome Party

日 程 表 1月15日 (日)

7:30~8:00	朝食	Breakfast
8:00~8:40	招待講演Ⅱ モーニングセミナー	Morning Seminar Invited Lecture II
	Ad J.J.C. Bogers Surgical issues in ACHD, exemplified with our autograft experience. 座長：河田政明 (共催：ファイザー株式会社)	Ad J.J.C. Bogers Surgical issues in ACHD, exemplified with our autograft experience. Chair：Kawada M (Supported by PfizerJapan Inc.)
8:45~10:00	Session IV 外科治療 (演題 OIV-17~OVI-22) 座長：藤原慶一、松尾浩三	Session IV Surgical Issues (OIV-17~OVI-22) Moderators：Fujiwara K, Matsuo K
10:05~10:25	基調講演	Keynote Lecture
	Ad J.J.C. Bogers Repaired TOF, a selective approach in reintervention for pulmonary regurgitation in adults? 座長：川副浩平	Ad J.J.C. Bogers Repaired TOF, a selective approach in reintervention for pulmonary regurgitation in adults? Chair：Kawazoe K
10:30~12:00	シンポジウムⅢ：repaired TOF, when to intervene adult CHD	Symposium III：repaired TOF, when to intervene adult CHD
	SⅢ-1~Ⅲ-6 座長：八木原俊克、赤木禎治	SⅢ-1~Ⅲ-6 Moderators：Yagihara T, Akagi T
12:00~12:30	昼食	Lunch
12:30~13:00	JSACHD 総会	JSACHD Plenary Meeting
13:05~13:50	ランチョンセミナー (招待講演Ⅲ)	Lunch on Seminar Invited Lecture III
	Joseph K. Perloff Nationwide Systems for ACHD clinics in the United states 座長：中西敏雄 (共催：アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社)	Joseph K. Perloff Nationwide Systems for ACHD clinics in the United states Chair：Nakanishi T (Supported by Actelion Pharmaceuticals Japan LTD)
13:55~15:35	シンポジウムⅣ：成人先天性心疾患診療体制の構築	Symposium IV：Proposal for Nationwide Systems for ACHD Clinics
	SⅣ-1~Ⅳ-8 座長：丹羽公一郎、八尾厚史	SⅣ-1~Ⅳ-8 Moderators：Niwa K, Yao A
15:40~16:05	ポスターセッション&アフタヌーンティー	Poster Session & Afternoon Tea
	P19-P35	(P19-P35)
15:55~16:45	Session V インターベンション (演題 OV-23~OV-26) 座長：富田 英、西 裕太郎	Session V Intervension (OV-23~OV-26) Moderators：Tomita H, Nishi Y
16:50~17:50	Session VI 遠隔期の諸問題 (演題 OVI-27~OVI-31) 座長：高橋長裕、賀藤 均	Session V Long-term Issues (OV-27~OV-31) Moderators：Takahashi O, Kato H
17:50~	閉会	Closing Remark